

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

確かな学力と論理的思考力の育成

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学習指導の充実を図るため、児童一人ひとりを大切に授業を展開し学力の向上を目指す。
 - (1) 「よい授業集計システム」の活用
『よい授業』アンケートの結果を各担任が考察し、自らの課題の明確化を図るとともに学年内で共有し、具体的な改善策を立て実践する。
 - (2) 個別指導の充実
スクールアシスタントを計画的に配置し、個に応じた指導を行う。
 - (3) 「書く」「話す」活動の充実
 - ①授業の振り返りとして、学習感想を取り入れ、1時間の授業で「分かったこと」や「考えたこと」等を書き、書く活動を意図的に設ける。
 - ②算数の時間の自力解決の場面や理科の予想や仮説を立てる際、少人数のグループで意見を伝える時間を意図的に設ける。
 - (4) オリンピック・パラリンピック教育の充実
「多様性の尊重」の資質を育むため、各教科等の指導において、「話す」「書く」等の言語活動を充実させ、コミュニケーションや感性・情緒の向上を図り、多様性（ダイバーシティ）を受け入れる態度を高める。
- 2 教員の指導力の向上を図り、児童の学力向上を図る。
 - (1) 経験の浅い教員の授業を中堅・ベテラン教員がお互いに授業を見合い指導や方法を伝え学ぶOJT研修を取り入れ、指導力の向上を図る。
 - (2) 学年会等で、学習計画や授業の進め方等を話し合う時間を設定し、学年が一体となって学習が展開できるようにする。

＜本年度の振り返り＞

- 「よい授業集計システム」を活用し、授業の工夫改善につなげ、指導力の向上に生かすことができた。
- 研修を通して、授業中に少人数での話し合い、学び合いの時間を意図的に設けた。しかしながら、学びを深めるため「書く」活動の具体的な手立ての構築が必要である。
- 「オリンピック・パラリンピック教育」の研究を通して児童は「スポーツの価値」「多様性の尊重」の資質を身に付け、様々な教育活動において、諦めず挑戦する姿、友達を思いやる姿が見られた。また授業研究を通して、授業に向けた教職員の自己研鑽及び学び合う雰囲気が醸成された。
- 経験の浅い教員の授業の指導力向上を一層図るため、中堅・ベテラン教員が授業参観を行うなどして、指導・助言するOJT研修を多く取り入れたり、お互いが見合う授業を計画的に進めたりすることができた。